



# まちの情報 札幌地区 \* まちの瓦版

\* 札幌 \* 中沼 \* 東雁来 \* No. 8

2009年9月 発行 モエレまちづくり委員会・まちの情報委員会



## 「中沼雑がみ選別センター」がオープン！！



札幌市中沼雑がみ選別センター



モニタールームで説明を聞く



コンベアを流れる雑がみを  
選別する作業を見学

6月29日（月）、札幌市リサイクル団地に「札幌市中沼雑がみ選別センター」がオープンし、開所式が行われました。開所式には、約80人の関係者が出席、テープカットの後、市職員から施設の概要説明を受けるとともに、受け入れコンベアを試運転して、実際の選別工程を見学しました。

札幌市リサイクル団地は、びん・缶・ペットボトルの資源選別センターや生ごみリサイクルセンター、プラスチック油化施設など、リサイクル処理の中核となる各種処理施設の集合体となっています。その中央部にできた「雑がみ選別センター」は、7月からの家庭ごみの有料化に伴い、新たな分別区分となった「雑がみ」を選別し再資源化することで、札幌市全体のごみ焼却量を削減することを目的としたものです。建物自体も、昨年秋まで建設系廃材のリサイクルセンターだった建物を改修、整備したリユース施設です。

「雑がみ」とは、主要古紙（新聞・雑誌・段ボール・紙パック）と汚れた紙以外の紙類の総称です。7月1日から本格稼働したこのセンターでは、1日最大85トンの紙類を処理しています。収集車で搬入された「雑がみ」から、新聞などの古紙を抜き取り、さらに、ビニールひもなどの混入物を取り除いた後、圧縮梱包され、紙や固形燃料としてリサイクルされます。

## 『自転車もルールを守って！』母の願い



「歩行者優先をお願いします」  
「チラシも後で読んでくださいね」



手旗を持ってマナー順守をアピール

6月5日（金）午後3時から、札幌交番（東苗穂8条3丁目）前の交差点付近で、札幌・東雁来・中沼の「交通安全母の会」や「交通安全指導員」約50人が、交通ルールやマナーを書いた手旗を持って、自転車の安全利用を呼び掛けました。これは、昨年の道路交通法の改正を機に、自転車の正しい乗り方、マナーの周知を目的に行われたもので、毎月第1・第3金曜日は「自転車安全の日」にもなっています。この日は、自転車に乗ったみなさんにポケットティッシュを配りながら、「歩道を走る時はスピードを落として」などと安全走行をアピールしました。

地域のお母さんたちからの訴えに、みんな自転車を止め、素直にうなずいていました。

# 地域の力を結集した「燃えれ！わが街 2009」開催！！

2009. 8. 1-2



～オープニング～  
モエレまちづくり委員会  
菅原会長の挨拶



～パレード～  
横断幕を先頭に



～発表～  
小学校の和太鼓演奏



～会場～  
たくさんの人で  
賑わっていました

8月1日(土)、2日(日)の2日間、札苗中央公園(東苗穂7条2丁目)で「燃えれ！わが街 2009」が開催されました。今年で17回目となるこのお祭りは、「燃えれ！わが街 2009 実行委員会」を中心に、地域のみなが力を合わせて行っています。近年は若いスタッフも増え、お祭りを盛り上げてくれています。

開会宣言、タイトル除幕とともに、札苗公園(東苗穂8条3丁目)を出発したパレードが会場に到着すると、いよいよ祭りのスタート。昨年、一昨年の雨天から、久しぶりの晴天に恵まれた会場には大勢の人が詰めかけ、地元の小・中・高校のサークル発表やモエレ音頭・東区音頭をはじめ、カラオケ大会や子ども相撲大会、ビンゴ大会などのアトラクションや、様々な模擬店で祭り気分を楽しみました。そして「フラワーコーナー」の園芸教室やコンテスト表彰式、オークション、色々な遊びを体験できる「子供コーナー」も大好評でした。

1日目のフィナーレでは、龍神伝説「金色の龍」がスライドで紹介され、迫力ある「モエレ龍神太鼓」の響きに合わせて、地元の若者が勇壮な「龍の舞」を披露。全長20メートルの龍を緩急自在に操り、空を駆け上がっていくような巧みな動きは、

みごとでした。



神出鬼没のピエロ



子ども相撲大会



いざ！忍者修行！



野点の宴



江尻先生の園芸教室

会場を訪れた大勢の方々と、祭りを支えたスタッフが、短い夏をともに楽しみ、「まち」が一つに燃えた2日間でした。